

事業者名 総合交通株式会社

営業所名 総合観光バス

部長	課長	運行 管理者	整備 管理者

特別指導記録 < 初任運転者 >

旅客自動車運送事業運輸規則第38条第2項による

運 転 者 名	選任年月日	指 導 時 間		ドライブレコーダー記録のファイル名
	R8 年 5 月 1 日	指導教育	添乗指導	初任運転者指導記録
		10 時間	20 時間	

①～⑥までの項目(座学指導)について合計で10時間以上実施すること。

⑦の項目(実技指導)について、20時間以上実施すること。

①～⑥までの項目(座学指導)について合計で10時間以上実施すること。 ⑦の項目(実技指導)について、20時間以上実施すること。				実施場所	
				総合交通2階教習室	
初任運転者への特別な指導内容		実 施 内 容	チェック	実施日・時間	指導者
①	事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項	・法令に基づき運転者が遵守すべき事項 ・交通ルールの遵守と理解 ・運行指示書の遵守と理解 ・安全運行の基本的な心構え	☒ ☒ ☒ ☒	R8年 4 月 25日 3時間 00分	
②	事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法	・自動車の基本的な構造及び装置の概要 ・車高、視野、死角、内輪差等の理解 ・日常点検の方法 ◎運転する自動車と同一の車種区分の自動車をを用いた指導	☒ ☒ ☒	R8年 4 月 27日 1時間 30分	
③	運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項	・シートベルトの着用の徹底の指導 ・運行の安全のために留意すべき事項及び旅客の安全確保のために留意すべき事項	☒ ☒	R8年 4 月 28日 1時間 30分	
④	危険の予測及び回避	・事故につながる恐れのある危険の理解 ・事故を回避するための運転方法等 ・運転する自動車と同一の車種区分の自動車をを用いた制動装置の急な操作方法の指導	☒ ☒ ☒	R8年 4 月 27日 2時間 00分	
⑤	安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法	・安全性向上のための装置等の理解 ・適切な運転方法の指導	☒ ☒	R8年 4 月 27日 2時間 00分	
⑥	ドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正	・⑦のドライブレコーダーの記録による運転者自身の運転特性の把握、必要に応じて是正のための必要な指導	☒	R8年 4 月 29日 1時間 00分	
⑦	安全運転の実技	・実際に運行する経路(高速道路、坂道、隘路、市街地等)において、運転者が実際に運転する自動車と同一の車種区分の自動車をを用いて添乗により指導 ・雪道又は夜間の運行を行う運転者にあつては、必要に応じてそれらの運行経路又は時間帯においても指導を行うこと	☒ ☒	別紙「安全運転の実技指導」に記載すること	
1	使用したテキスト、資料の写を添付した本記録票を3年間保存すること。また、安全運転の実技におけるドライブレコーダーの記録(最低20時間分)及び習得の程度を確認をドライブレコーダーの記録により行った場合その記録並びに安全運転の実技における運行記録計で記録した瞬間速度、運行距離及び運行時間の記録を3年間保存すること。				
2	具体的な内容を乗務員等台帳に記載するか、又は乗務員等台帳に実施年月日を記載した上でこの書面を台帳に添付すること。				
3	指導実施後、2週間以内にドライブレコーダーの記録(15分程度)又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行うこと。なお、ドライブレコーダーの記録で確認する場合は、高速道路、坂道、隘路、市街地、駐車場における記録を確認するよう可能な限り努めること。				

◎安全運転の実技指導(添乗で合計20時間以上実施する事)

実技指導の内容及び実施場所	判定	実施日・時間	添乗者
・一般道・夜間の走行(出発前の危険箇所の指導、自転車・歩行者の動き、停車中の安全確認、隘路の走行、右左折時の注意点、夜間走行の注意点等) 実施場所:福岡空港～篠栗町(南蔵院)～油山	A	R8年 4月 24日 4時間 40分	
・高速道路の走行(ETCレーンの通過、本線への合流、排気ブレーキ等を使用した下り坂での走行方法、速度に応じた車間距離の確保、サービスエリアでの注意点等) 実施場所:九州自動車道～基山PA～長崎自動車道～道の駅大和～どんぶり村	A	R8年 4月 23日 4時間 30分	
・上り坂の走行(勾配が変わらない場合の一定のギヤの保持、見通しの悪いカーブでの注意点、道幅が狭いカーブでの注意点等) 実施場所:久留米市～鳥栖市内～三瀬トンネル有料道路～みずほペイペイドーム	A	R8年 4月 22日 3時間 50分	
・下り坂の走行(排気ブレーキ・リターダーの活用、実車と空車の違い、フットブレーキ使用時の注意点、シフトダウンの注意点、カーブの走行方法、ギヤ選択時の注意点) 実施場所:唐津城～鏡山展望台～呼子～波戸岬～ももち浜	A	R8年 4月 20日 3時間 30分	
・乗客へのアナウンス(シートベルトの着用、非常口の位置と使用方法、非常ブレーキの位置と使用方法等) 実施場所:総合交通車庫内	A	R8年 4月 29日 1時間 40分	
・バス車両の特性(車両の死角、発車時のアンダーミラーによる前方確認、バックカメラの特性の理解、内輪差とオーバーハング、速度に合ったギヤの選択) 実施場所:福岡市内 博多駅～櫛田神社～東長寺～福岡タワー	A	R8年 4月 21日 3時間 30分	
		年 月 日 時間 分	

◎安全運転の実技指導例(国土交通省の「貸切バスにおける実技指導の具体例の解説動画」による)

指導内容	指導のポイント
一般道・夜間の走行	・出発前に事故の危険性が高い箇所を把握し、適切な運転操作を指導する。 ・自転車・歩行者等の動きに注意する。 ・停車中も適宜後方の安全を確認する。 ・隘路を走行する際は、歩行者、自転車、電柱、道路標識、屋根、軒等に注意する。 ・左折時には、内輪差による巻き込み及びリヤオーバーハングに注意する。 ・右折時には、対向の二輪車や横断歩道上の自転車・歩行者に注意する。 ・夜間走行は日中と見え方が異なるので、自転車・歩行者・特に二輪車には注意する。
高速道路の走行	・ETCレーン通過時には、前後左右の車両の動きに注意する。 ・ETCレーンでは、時速20km以下の速度で通過する。 ・合流地点では、譲り合いを心がける。 ・下り坂は、速度超過に繋がりやすいため、排気ブレーキ等を適切に使用し、一定の速度を保って走行する。 ・速度に応じた適切な車間距離を保って走行する。 ・サービスエリア内では、特に左からの車両や歩行者に注意する。
上り坂の走行	・勾配が変わらない場合、一定のギヤを保持して走行し、下り坂で同じギヤを使用するためギヤを覚えておく。 ・見通しの悪いカーブでは、対向車等の危険予測を行い、注意して走行する。 ・道幅が狭く、やむを得ずセンターラインを超える場合は、速度を控え対向車の妨げとならないよう注意する。
下り坂の走行	・排気ブレーキ及びリターダーを使用し、フットブレーキを踏み過ぎないように注意する。 ・乗客がいる場合は、その重量が加わることでブレーキが効きづらくなるため注意する。 ・過回転に注意し、さらに加速するような場合にはフットブレーキを使用する。 ・フットブレーキを使用する際には、ブレーキの加熱に注意する。 ・エンジンの回転数が合っていないとギヤが入らないことがあるため注意する。 ・カーブでは手前で減速し、なるべく外側を走行する。 ・上りと同じギヤもしくは一段低いギヤを使用し、上りよりも高いギヤは使用しない。
乗客へのアナウンス	・シートベルトの着用、非常口の位置と使用方法 ・非常ブレーキの位置と使用方法
バス車両の特性	・車両の死角を理解する。 ・発車時は、アンダーミラーにより、バス前方の安全を確認する。 ・バックアイカメラの特性を理解する。 ・運転する車両の内輪差とオーバーハングを把握する。 ・速度にあったギヤを選択する。